



# 統計スポット情報

No. 117

H18. 4. 28

福井県総務部政策統計室

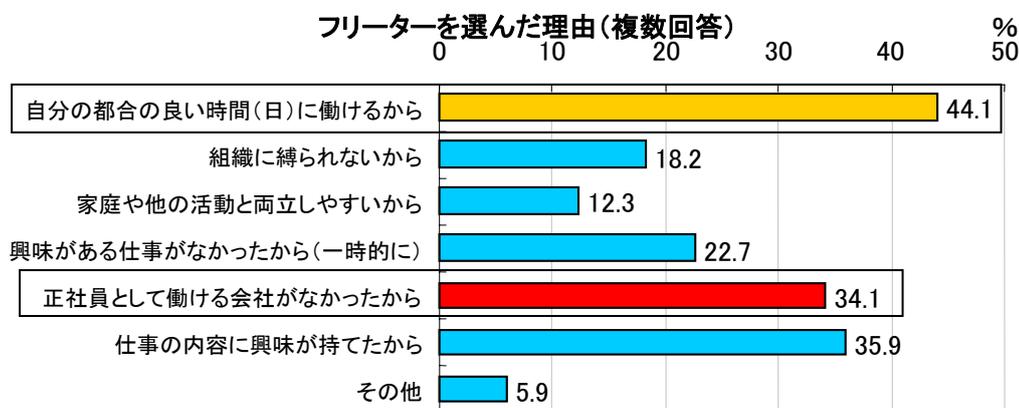
## — 本県フリーターの状況 —

バブル経済の崩壊以降、徐々に増えてきた「フリーター」。自由な生き方を選ぶフリーターはともかく、企業の新規採用抑制などの影響を受けて、やむを得ずフリーターとなっている人も少なくありません。今回は、福井県労働状況調査で明らかになった本県のフリーターの状況についてみてみましょう。

### 【フリーターを選んだ理由】

フリーターを選んだ理由として「自分の都合の良い時間(日)に働けるから」という理由が最も多く44.1%である一方、「正社員として働ける会社がなかったから」とやむを得ずフリーターになっている割合も34.1%ありました。(図表1)

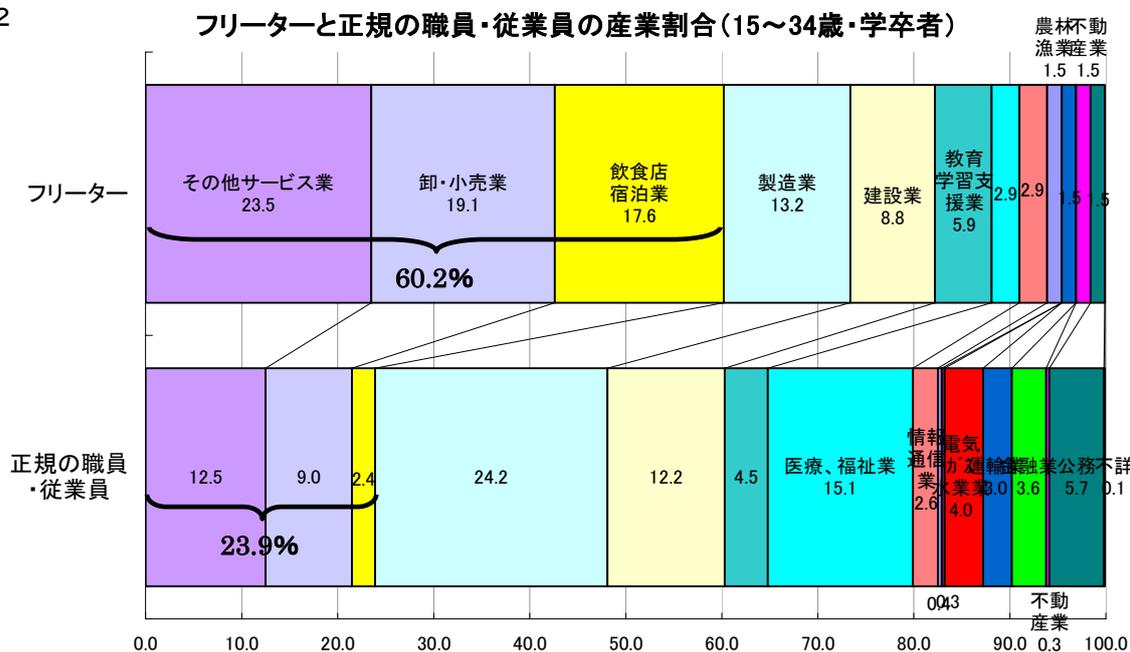
図表1



### 【就業している産業】

就業しているフリーターがどのような産業に就いているかをみると、「卸売・小売業」や「飲食店宿泊業」、「その他のサービス業」などの産業が全体の6割を超え、正規の職員・従業員と比較して2倍以上の割合となっているのが特徴です。(図表2)

図表2



【用語】

- フリーター : 年齢 15～34 歳層、卒業者で、女性については未婚の者とし、
- ①現在就業している者については勤め先における呼称が「アルバイト」または「パート」である雇用者、
  - ②現在失業の者については「アルバイト・パート」の仕事を希望する者として集計 (非労働力人口分は含んでいない。)

若年層 : 年齢 15～34 歳層

なお、平成 17 年の本県就業・失業状況やフリーターの状況については、統計情報システムにて公開中。  
ぜひ、ご覧ください。(HP) <http://toukei.pref.fukui.jp/> (トップページ → 労働・賃金)

この資料内容の照会は政策統計室統計分析チーム (電話 0776-20-0271) へご連絡ください。

---